

令和元年度 大村市民病院運営市民会議

< 平成30年度 事業実績について >



令和 2年 2月25日

事務部長；永元 清隆
事務部次長；福田 行弘

大村市の医療環境

<人口 : 96,973人、高齢化率 : 24.7% (令和元年11月現在) >
(長崎県;32.3% 国;28.5%)

一次医療

大村市医師会 (約80施設)

<一次救急、在宅医療、老健、療養型、回復期リハ、緩和ケア等>

二次医療

市立大村市民病院(医師数:34名)

<一次・二次救急、地域包括ケア 回復期リハ、健診事業等>

三次医療

国立病院機構 長崎医療センター(医師数:約220名)

<二次・三次救急、各種拠点病院、臨床研究センター、臨床研修等>

名称	市立大村市民病院
所在地	856-8561 長崎県大村市古賀島町133番地22
開設者	大村市
開設年	昭和26年10月1日 平成20年4月1日から指定管理 平成29年4月新築移転
管理運営	公益社団法人 地域医療振興協会
診療科目(標榜) 22診療科	内科、呼吸器内科、腎臓内科、消化器内科、神経内科、感染症内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、心臓血管外科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、皮膚科、泌尿器科、救急科、精神科、歯科口腔外科、麻酔科
病床数	許可病床 216床(一般212床+感染症4床)
その他	管理型臨床研修指定病院 人工透析、健康管理センター

私たちは、地域の皆様の「健やかな生活」を支援する「あたたかい医療」を行います。

○運営方針

1. 患者さん本位の地域医療を行います。
2. 患者さんにまごころを込めた十分な説明を行い、信頼される医療を実践します。
3. 自己研鑽に努め、チーム医療を推進し、安心・安全な医療を提供します。
4. 地域の皆様が安心して生活できるよう、地元医療機関・行政との連携を密にし

保健医療福祉のネットワークの構築を推進します。

5. 患者さんの権利を尊重し、個人情報を守ります。
6. へき地支援病院として、離島や山間部の医療過疎地への診療支援を推進します。
7. 臨床研修病院として、地域医療を志す医師を育成します。

○医療機能の特色

急性期医療から回復期、維持期、予防医学にわたる 一貫した医療の提供を行っています。

基本理念

地域の皆様へ 笑顔と あたたかい心で 信頼される看護を行います。

管理体制

- ・看護単位7個(3F, 4F, 5F, 6F, HCU, 手術室, 外来)
- ・病棟及び外来には 師長 副師長 主任を配置
- ・固定チームナーシングの看護体制

教育方針

- ・「ともに育つ教育環境」を整えることが安心・安全の療養環境に繋がると捉え、新人看護師の育成継続教育に力を注ぐ
- ・他施設の新人看護師の研修も受け入れ
- ・看護学校の臨地実習施設
- ・市内の中学・高校の職場体験の受入

平成20年4月より、地域医療振興協会が管理運営を開始

< 令和2年1月1日現在 >

職員数 437名 (うち非常勤 98名)

【常勤医師】 34名 ・ 【非常勤 9名】
*東京ベイ浦安市川医療センター 応援医師1名。

【看護部】 235名(うち非常勤 48名)

【医療技術部職員】 93名
(うちリハビリ療法士 51名)

【事務職】 66名(非常勤37名)

	平成30年度	令和元年度 (4月～1月)
病床数	216床	216床
外来患者数	323.7人/日	333.7人/日
入院患者数	198.4人/日	201.7人/日
病床稼働率	91.9%	93.4%
平均在院日数(一般)	12.2日	11.8日
紹介率	63.1%	66.4%
救急車受入件	805件	1,032件

臨床研修指定病院

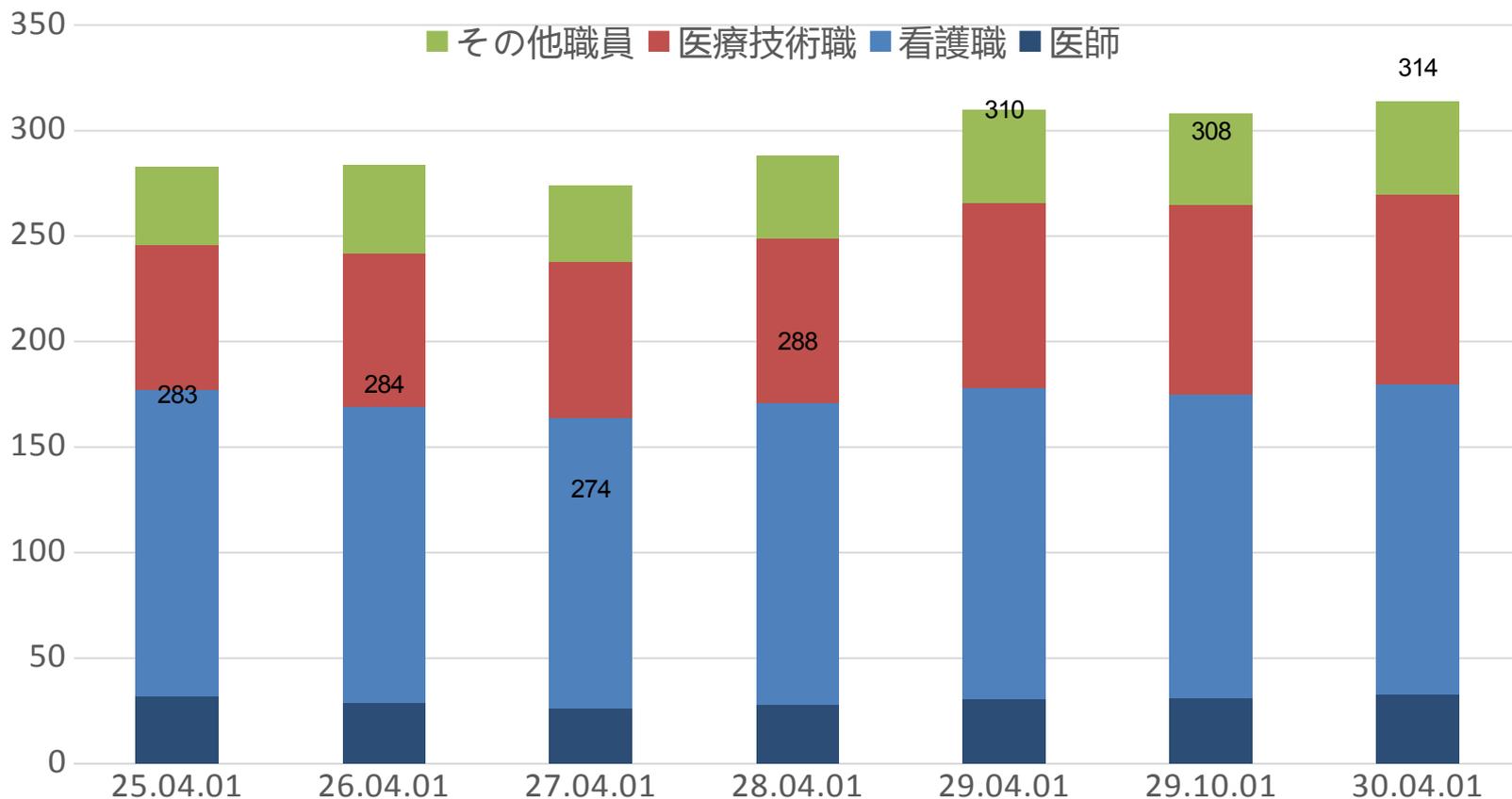
看護配置基準：一般 10対1 (DPC採用)、HCU(8床)
回復期リハ病棟、地域包括ケア病棟

平成30年度稼働率

(回復期リハ 96.2%、 包括ケア 97.3%)

職員数の推移

① 常勤職員数



2008.4.1移行時

職員245名，非常勤48名

計293名

2020.1.1現在

職員339名，非常勤98名

計437名

入院診療体制

< 地域医療構想を念頭に置いた計画 >

新病院 病棟構成の変更 平成29年4月～

	旧病院	⇒		新病院
ハイケア I	5		ハイケア I	(高度急性期) 8
ハイケア II	4			
急性期(10:1) 内科・外科他	60		急性期(10:1) 内科・整外科他	(急性期) 5 4
急性期(10:1) 心外・循環器	46		急性期(10:1) 心外・循環器	(急性期) 5 2
回復期リハ	32		回復期リハ	(回復期) 4 0
地域包括ケア	56		地域包括ケア	(回復期) 5 8
感染症	4		感染症	4
合計	207		合計	216

・政策医療への取り組み

- ・5疾病（がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患）
- ・5事業（救急医療、災害医療、へき地医療の支援、周産期医療、小児医療）にかかると医療供給体制

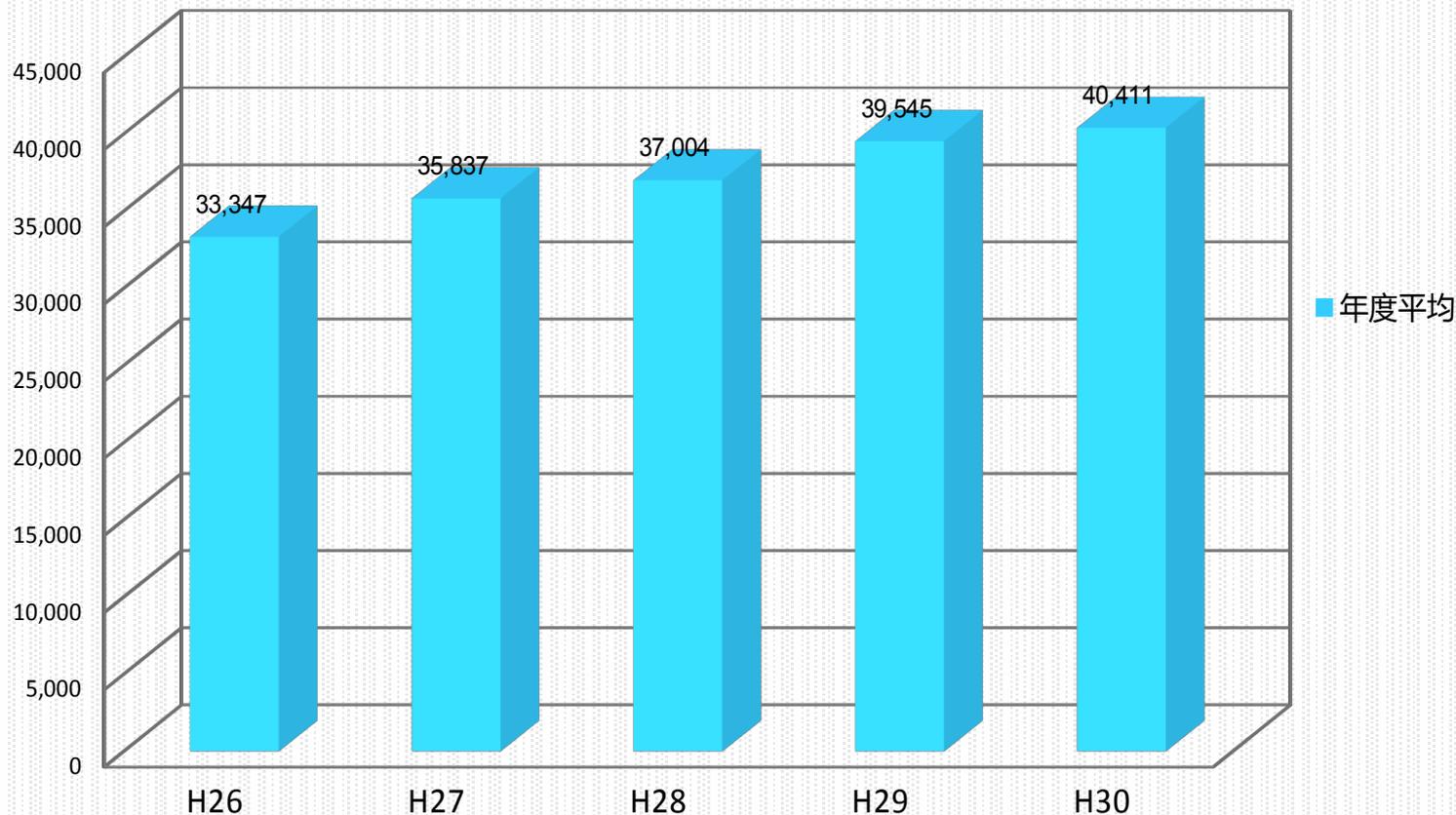
政策医療等への取り組み - ②

- 救急医療(2次救急)、心臓血管病センターでの総合的高度先進医療(24時間体制)
- 地域包括ケアシステムの入院体制を支える地域包括ケア病棟・回復期リハビリ病棟の運営
- 高度歯科口腔外科、人工透析を実施
- 健康管理センターにおける各種健康診断、保健指導
- 災害医療への対応、Ⅱ類感染症、災害時医療対応BCP等

回復期リハビリテーション病棟単価推移

回復期リハビリテーション病棟単価

(単位; 円)



* 2019年度(4月-1月) 平均単価 40,897円 +486円(対前年度比)

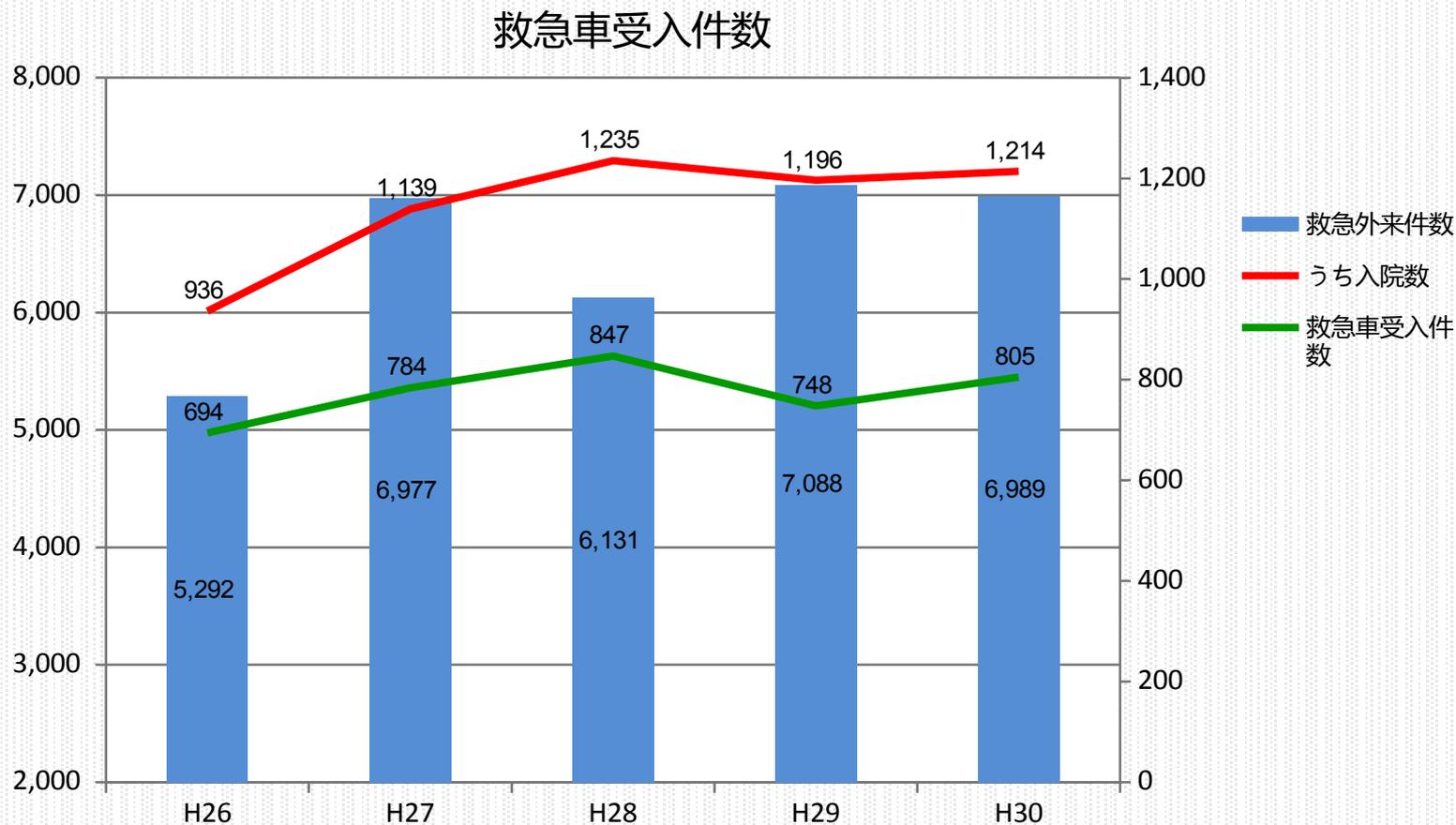
★令和元年10月から運用開始

- ・ 患者家族、大村市から要望
小児リハビリ施設の不足。市内で実施してほしい。
- ・ 県立子供医療福祉センターと連携
作業療法士2名が研修、勉強会を実施。
- ・ 30名の小児言語リハビリ実施
作業療法介入の診断名対象は27名

リハビリ職員3名増

小児作業療法 (R1年10月から 約3,300千円)

救急医療(救急車受入件数)



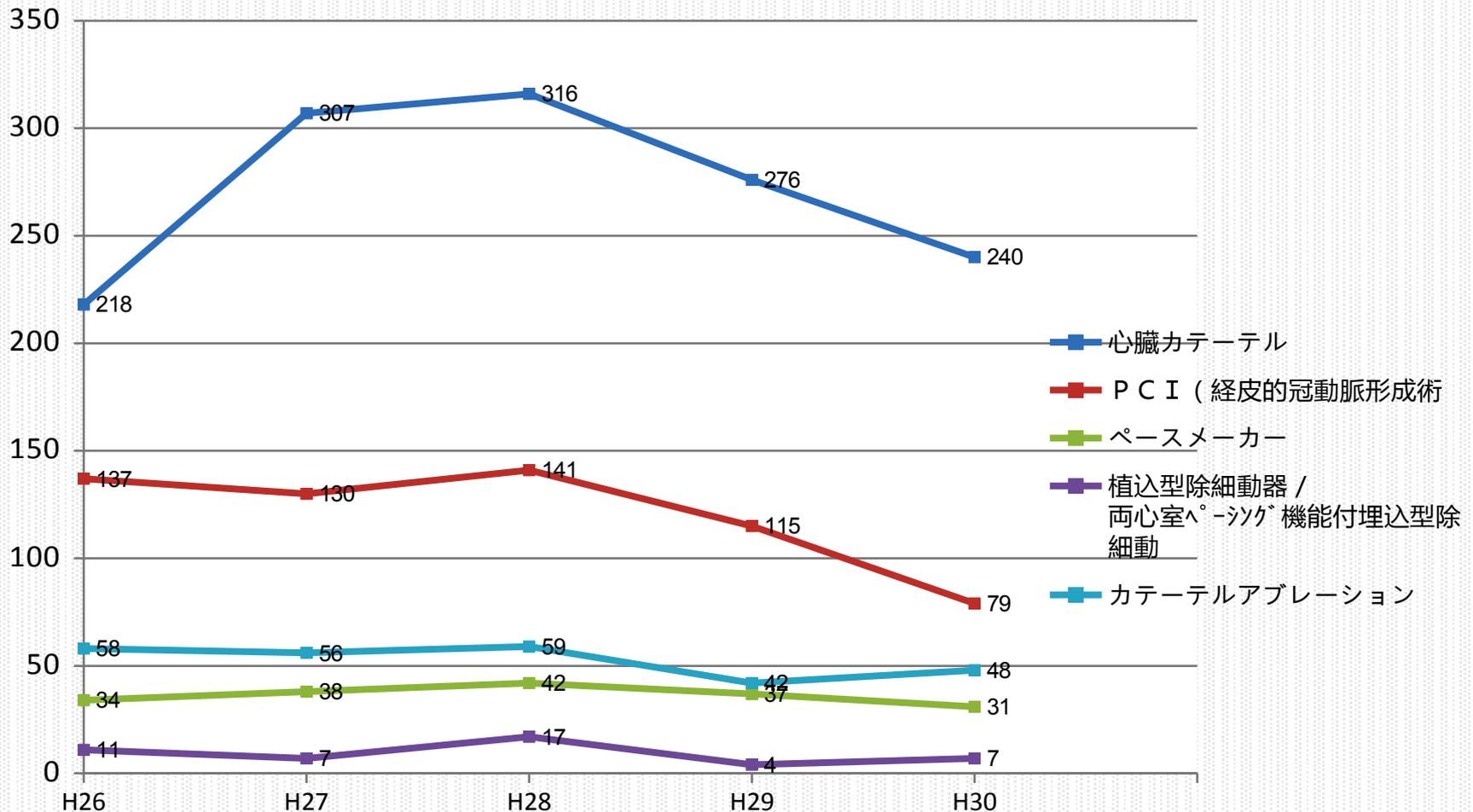
2019年度(4月~1月分累計)

・救急車受入件数 1,032件、

・救急外来件数 6,305件

(うち入院数 1,101件)

循環器系・心臓血管外科治療

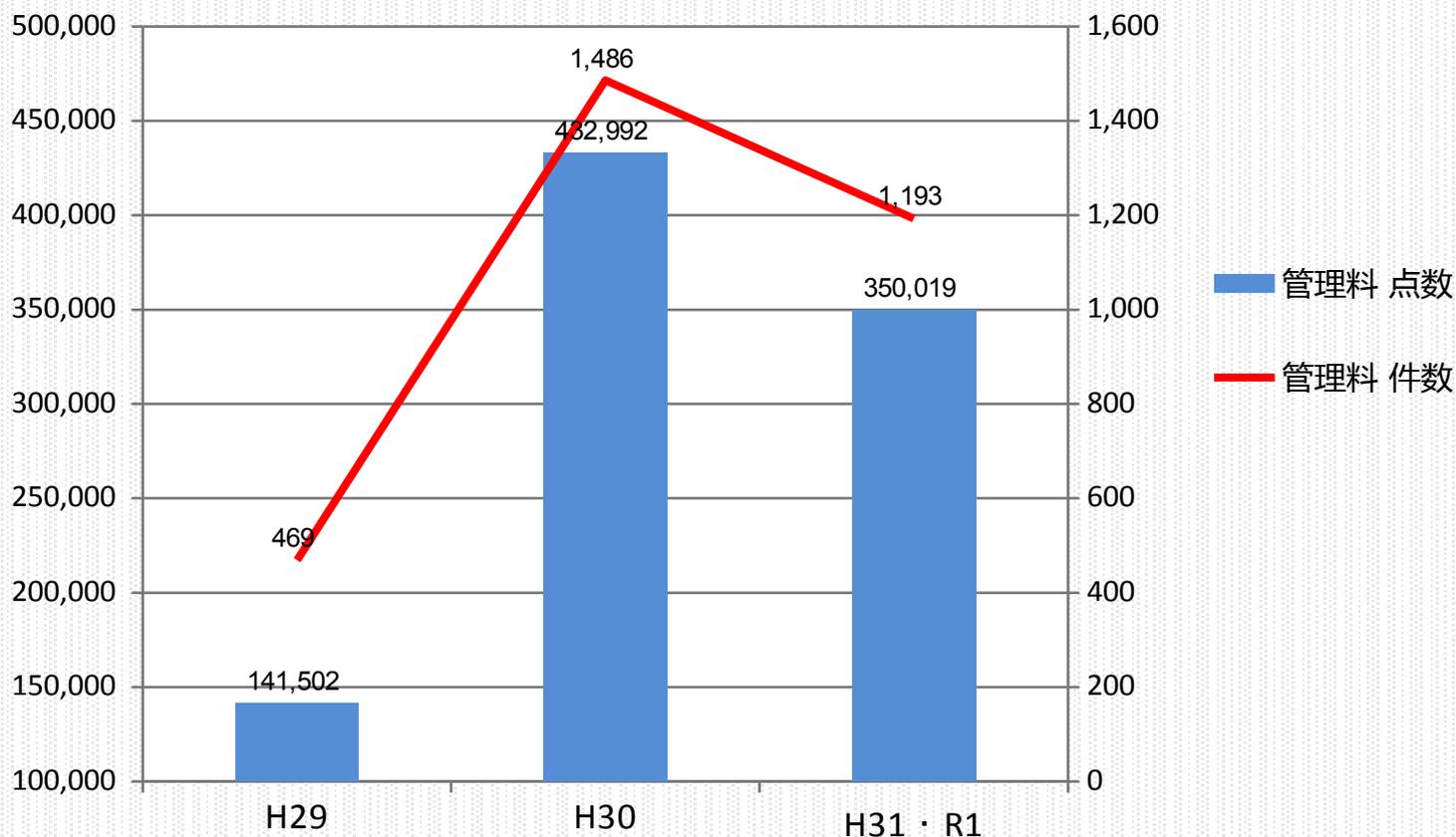


心臓血管外科手術（下肢静脈瘤手術、シャント拡張術、ステントグラフト内挿術、冠動脈、大動脈バイパス手術 他）

・平成29年度⇒209件、 ・平成30年度⇒251件 +42件増

歯科口腔外科(周術期等口腔機能管理料件数)

周術期等口腔機能管理料

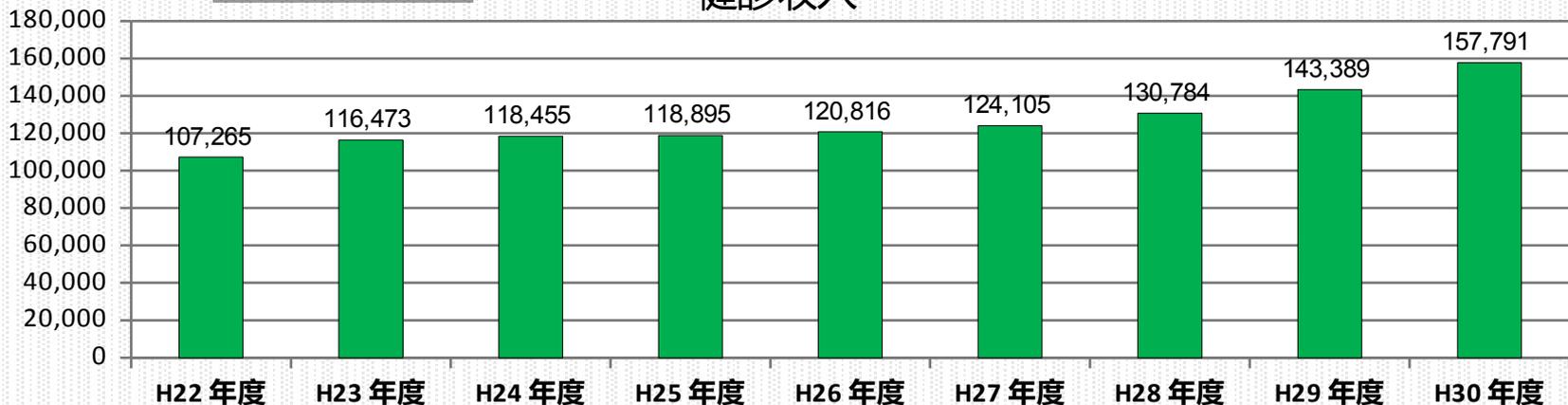


2019年度(4月~1月)までの実績

健診センター稼働実績 推移

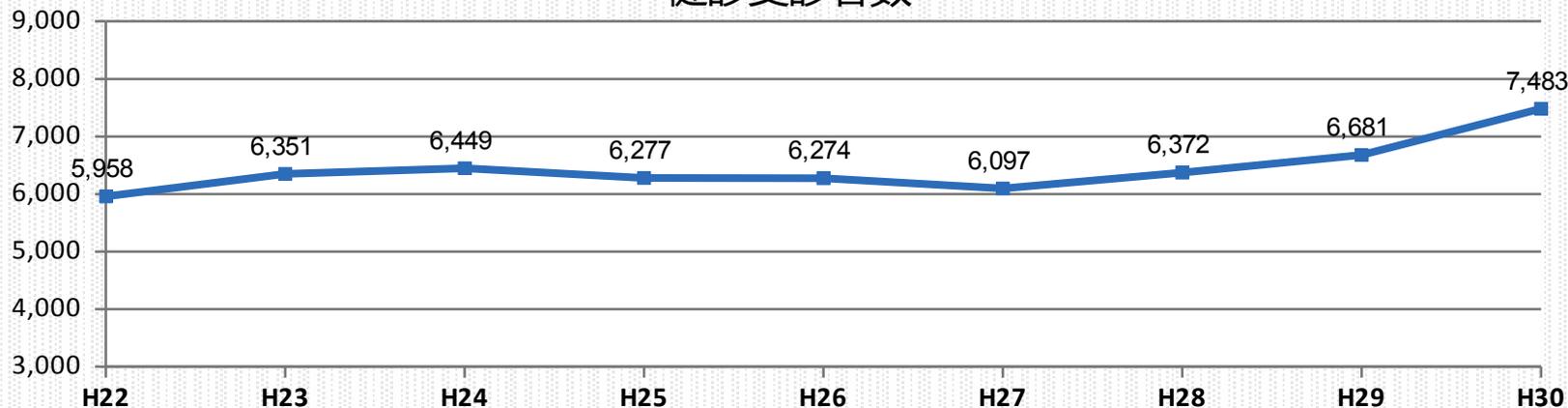
収入の推移

健診収入



受診者数推移

健診受診者数

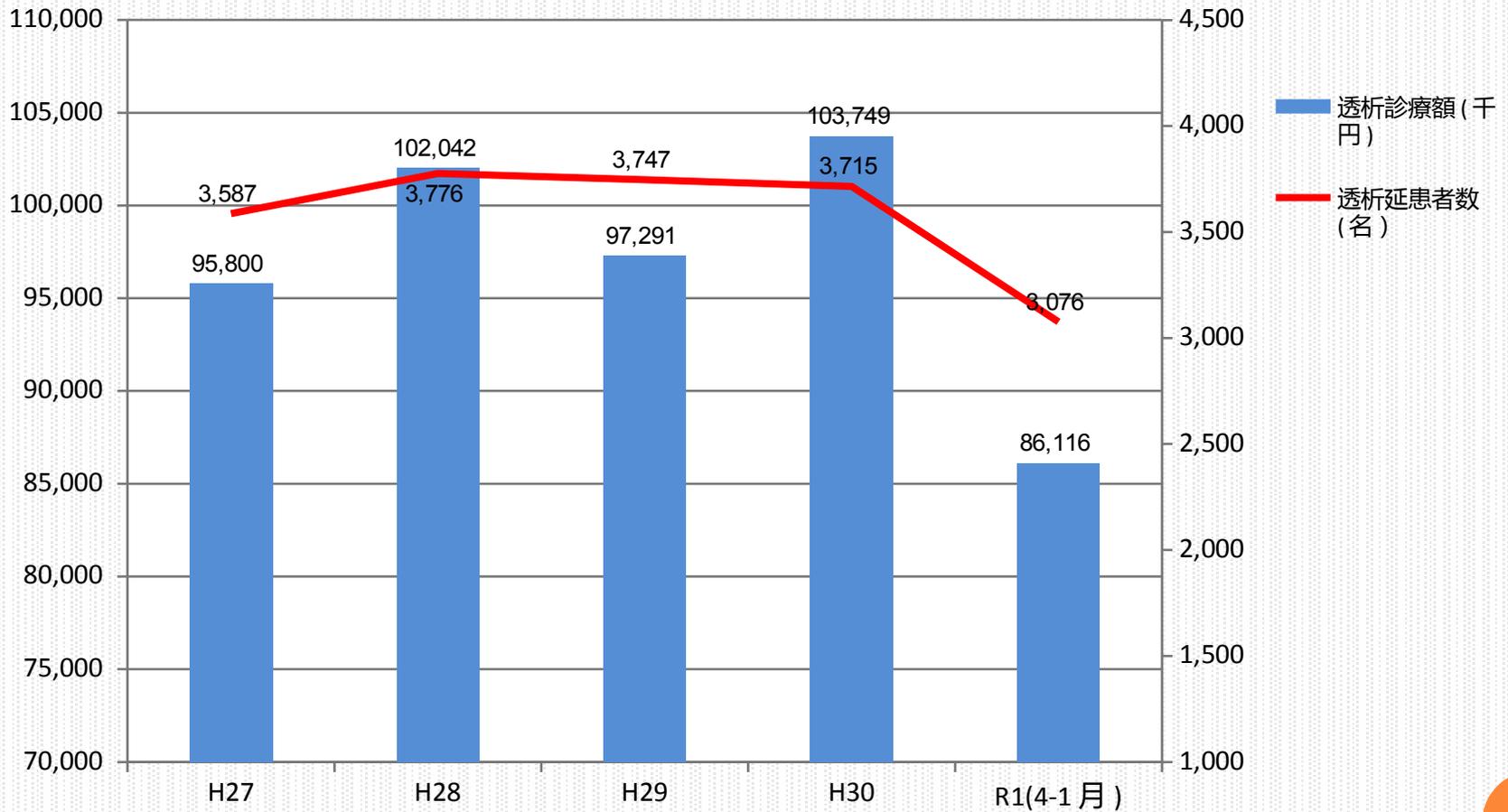


新病院に伴う健診センターの充実 ハード ソフト両面

保健師3名体制を構築 健診受診者の増加 保健指導件数の増等

人工透析の状況

外来透析件数



災害医療等-① II類感染症対策

新病院では感染症病床4床を完備

H29年12月21日

H30年12月18日

R元年11月22日

新型インフルエンザ患者搬送訓練を実施

(県央保健所 県央消防 市民病院合同)

大村消防署、諫早消防署、 その他 (佐世保市消防局)

H31年2月20日 検疫感染症措置訓練を実施

福岡検疫所長崎検疫支所 県央保健所 市民病院合同



災害医療等-② B C P の策定・取組状況

・平成26年1月策定（旧病院）平成29年5月改定（新病院）

職員の配置、参集要員（病院 - 職員宅間までの距離）等は年1回見直し、更に現状に合わせ随時更新している。

令和元年8月17～18日に長崎県DMAT隊員養成研修会へ参加した。

*** B C P に基づいた災害訓練の部分訓練を11月28日に実施した。**

・大村市地域医療5者災害医療WG 平成30年11月6日発足

機 関：県央保健所、大村市、大村市医師会、長崎医療センター、市立大村市民病院

目 的：大規模災害発生時の情報共有等について、平時からの関連機関で有事への備えを行う。

* 今年度、5月23日、7月31日、11月20日に開催し、ホットラインの構築等連絡体制について協議した。⇒災害時緊急連絡用としてIP無線機の導入。

・今後の協議事項

大規模災害の際に

1)自施設がどれくらい機能するのか、機能しない場合はどこに支援を求めるのか。

（傷病者の受入等）

2)連絡体制をどうするのか。

（担当者数名の携帯電話番号を把握，全機関IP無線機の導入、複数のホットラインの構築など）

3)それぞれの施設が何を市へ要望するのか（水道・電気・燃料・食料の確保）

2019. 7月 長崎空港事故訓練



2019. 7月 長崎医療以外-災害訓練



2019.11月 BCP訓練 (対策本部)



2019. 9月 消防訓練



地域医療連携室を中心に病診連携・病病連携を推進

- ・長崎医療センター、大村市医師会、福祉施設等の相互連携体制の構築 連携室協議会への参加 勉強会の開催等

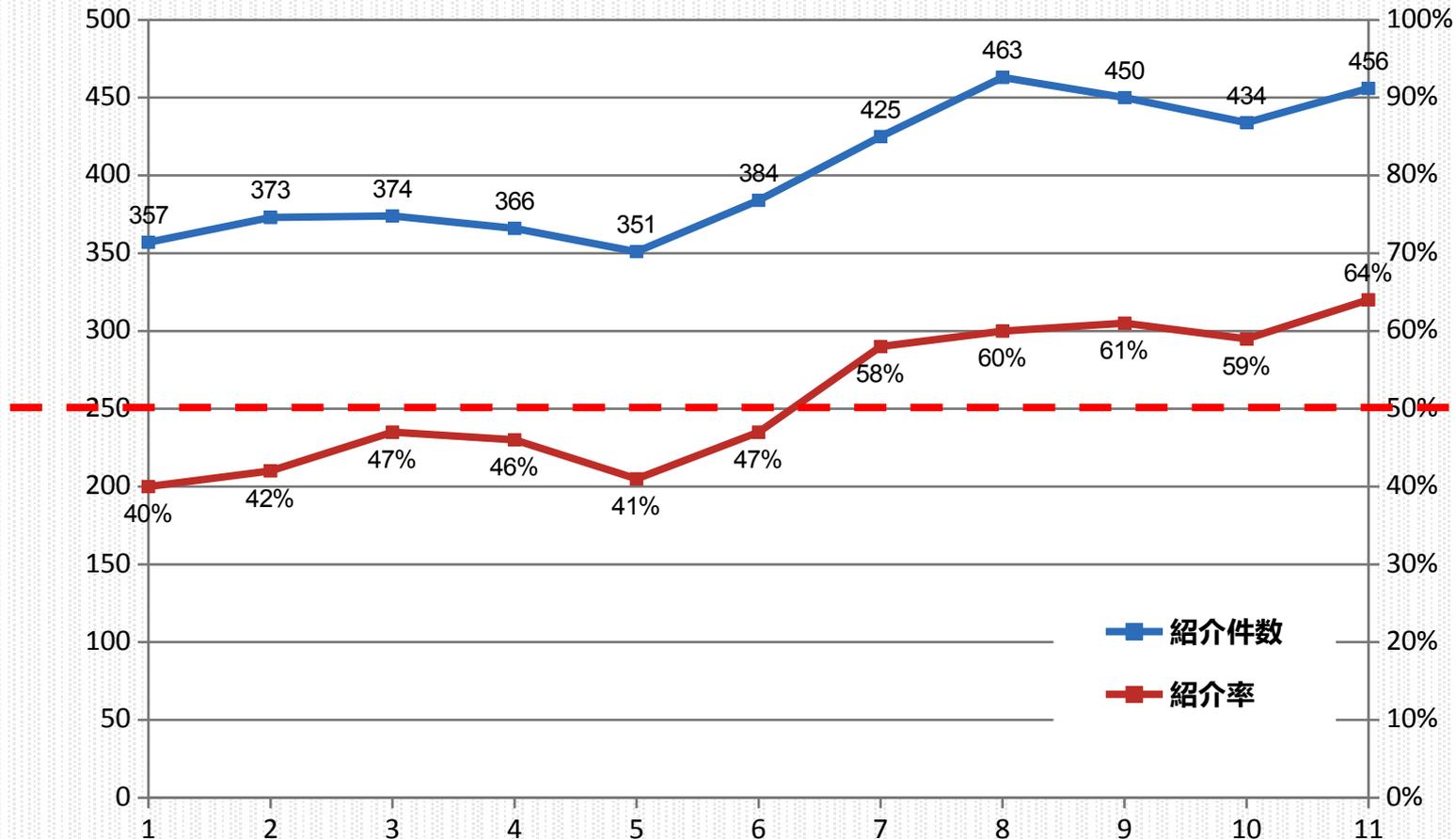
平成31年4月～

「地域連携・患者支援センター」として、地域連携室（前方連携）と入退院支援室を配置した。
入退院支援室は、ソーシャルワーカーが関わる患者相談室と入退院支援を行う看護師を入退院支援係として配置し、入退院支援の連携強化を図る。

- ・高度医療機器の共同利用
- ・大村消防署との連絡協議会開催
- ・あじさいネットによる地域医療機関との連携
- ・健康教育の推進 ふれあい健康講座 出前講座等
- ・市内の各種行事等における職員の派遣

地域連携 紹介数・紹介率の向上

年度別 紹介件数(月平均)・紹介率



2019年度(4月~1月分) ・ 紹介件数491件,
・ 紹介率66.0%, 逆紹介率40.0%

ふれあい健康講座 185回開催



出前講座 37回開催



地域医療連携

地域の看護・介護職者研修会の開催

正しい呼吸の観察・オムツの当て方・フットケア・皮膚トラブル・感染防止他について認定看護師による研修会の実施

- ・平成30年10月21日当院にて開催
31施設76名の参加（看護師・介護福祉士・ケアマネ等）
*** 31年度9月28日、10月26日に実施（参加人数 45名）**
- ・国が推進する在宅医療での医療職・介護・福祉職の連携強化、地域全体のスキルアップを図る。
- ・継続看護・介護の一端を担い、顔の見える関係を構築、患者さんが安心して地域に帰るためのネットワークの強化を目的。

研修関連

- 地域医療振興協会の実施する研修・学術活動
地域医療学術集会、海外研修等

(令和元年度)

フレイル予防セミナー(本部TV会議)

- 協会施設間での後期研修医の受け入れ

(離島を含む研修)

- 基幹型研修施設

- 医学生の受入

- 院内外での研修、研究発表等

教育委員会による毎月の研修会の開催、院内研究発表会、各種学会における発表への援助など認定看護師、特定ケア看護師等の資格取得のための援助

医療の質向上

○医療安全管理

- ・医療安全管理室の設置 専従者の配置
- ・医療安全管理委員会の開催、定期的院内巡視 リスクの把握
分析 検討 評価 改善を実施
- ・事故、インシデント、クレーム等の早期把握
- ・全職員への医療安全教育、研修や啓発、新人教育の徹底
(出席を義務化)

○院内感染対策

- ・感染対策室の設置 専従者(認定看護師)の配置
- ・院内感染対策委員会の開催、ICT委員会の職場ラウンドにより各職場での感染対策チェック
- ・全職員への感染対策教育、研修、連携施設との相互カンファレンスの実施

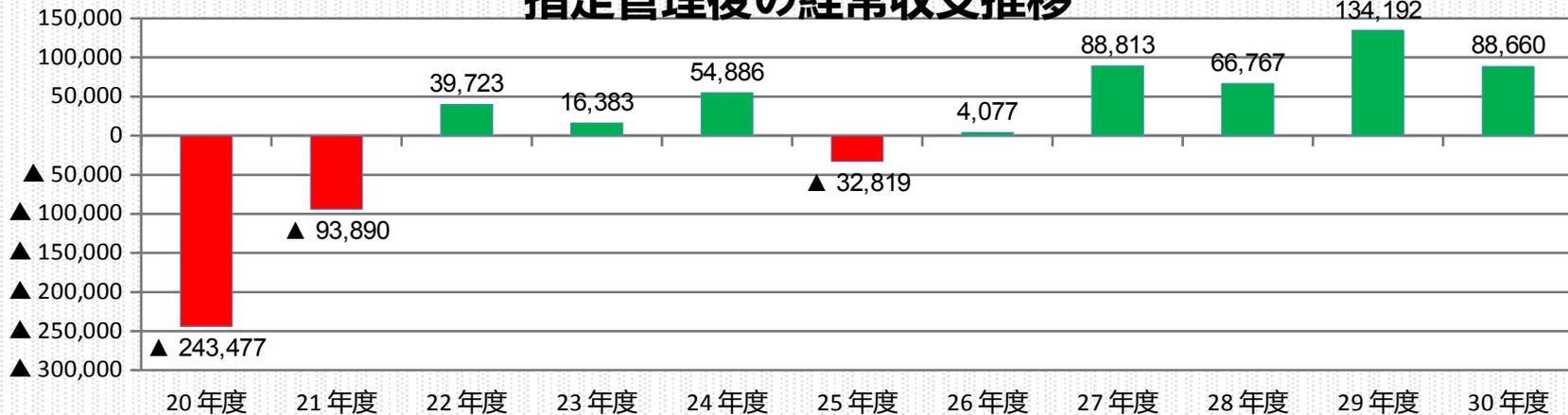
指定管理後の損益の推移

単位：千円

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事業収益	3,476,370	3,677,010	3,840,999	3,781,443	3,860,088	3,906,607	3,735,438	3,968,003	4,169,770	4,271,713	4,431,572
事業費用	3,921,390	4,032,651	4,127,129	4,072,381	4,127,726	4,253,566	4,027,346	4,148,018	4,383,568	4,404,372	4,522,300
事業利益	▲ 445,021	▲ 355,642	▲ 286,130	▲ 290,938	▲ 267,638	▲ 346,959	▲ 291,907	▲ 180,015	▲ 213,798	▲ 132,659	▲ 90,728
事業外収益	213,647	273,651	341,623	323,022	337,831	329,261	310,651	326,989	317,118	315,180	259,481
事業外費用	12,103	11,899	15,764	15,701	15,307	15,121	14,666	58,161	36,553	48,329	80,090
経常利益	▲ 243,477	▲ 93,890	39,723	16,383	54,886	▲ 32,819	4,077	88,813	66,767	134,192	88,660

指定管理移行後の経常利益累計 123,315千円

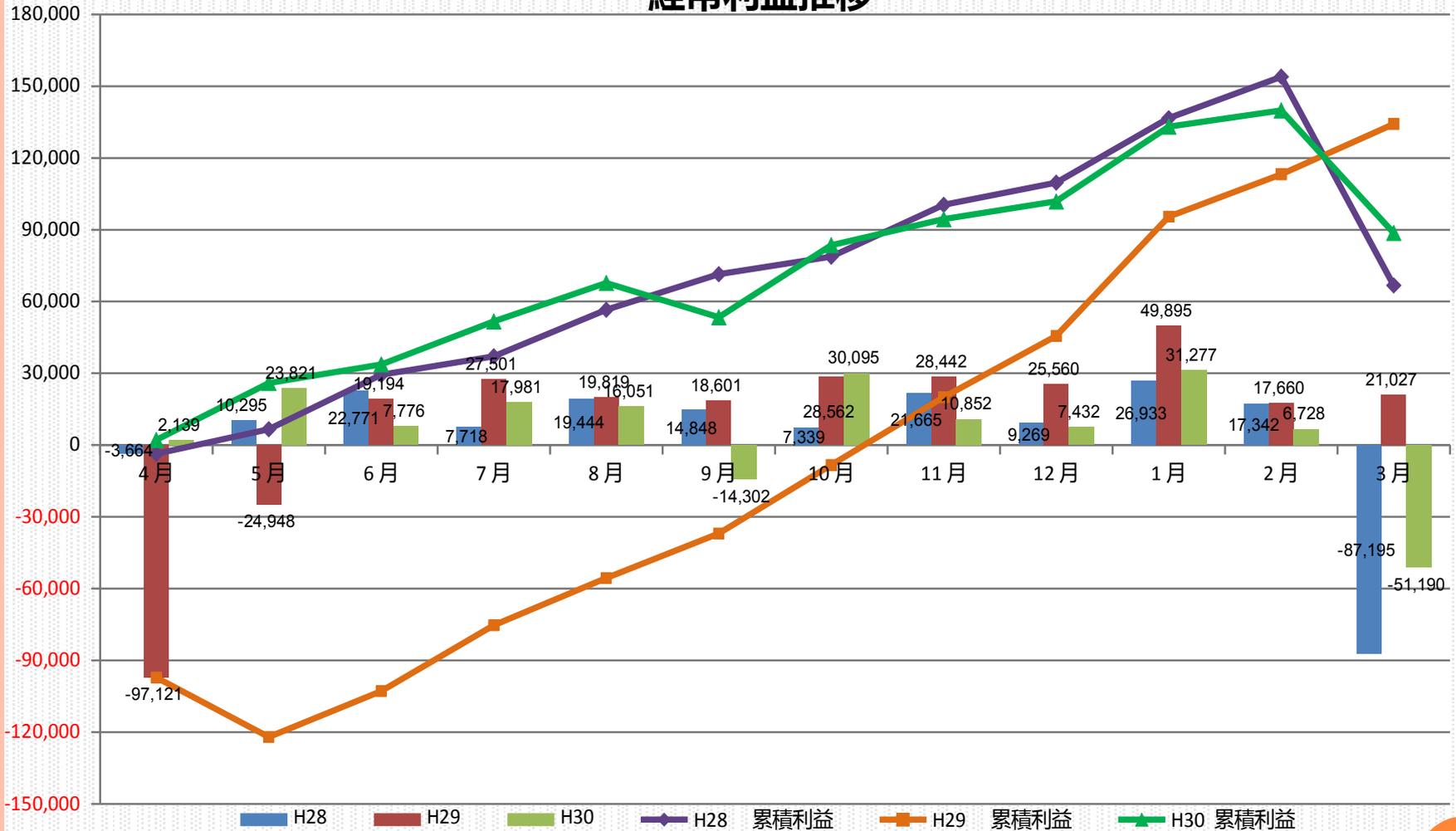
指定管理後の経常収支推移



(大村市直営の最終年度 平成19年度決算 ▲847,000千円)

月別収支状況(過去3年間推移)

経常利益推移



2019年度 4月～12月分累計

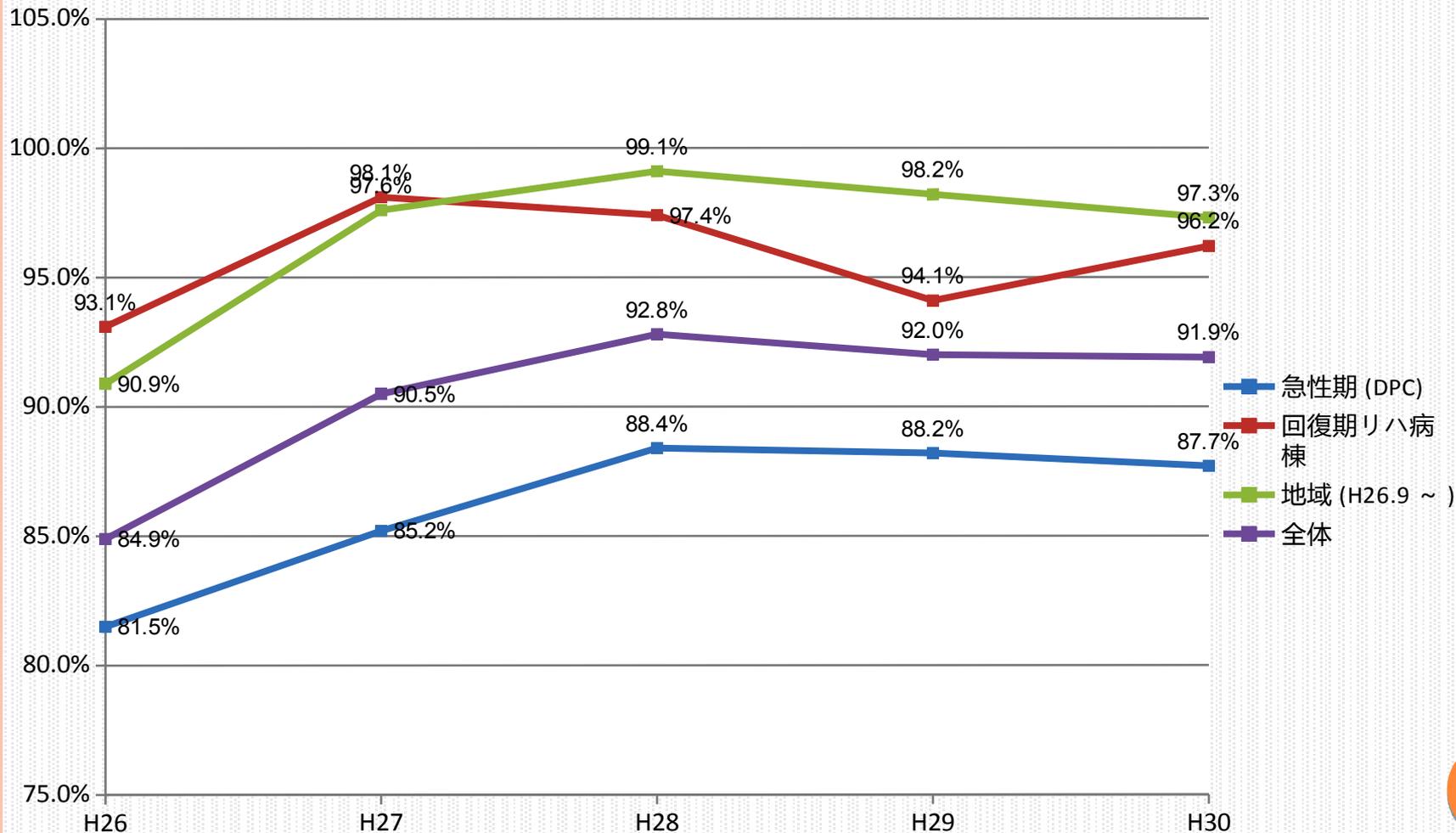
+156,136千円

病床稼働率 推移

30年度以降目標

全病床数 (216床) の 90% 195名

26年度	84.9%	172.3名/日
27年度	90.5%	183.8名/日
28年度	92.8%	188.4名/日
29年度	92.0%	198.0名/日
30年度	91.9%	198.4名/日



2019年度稼働率

4月 ~ 1月分累計

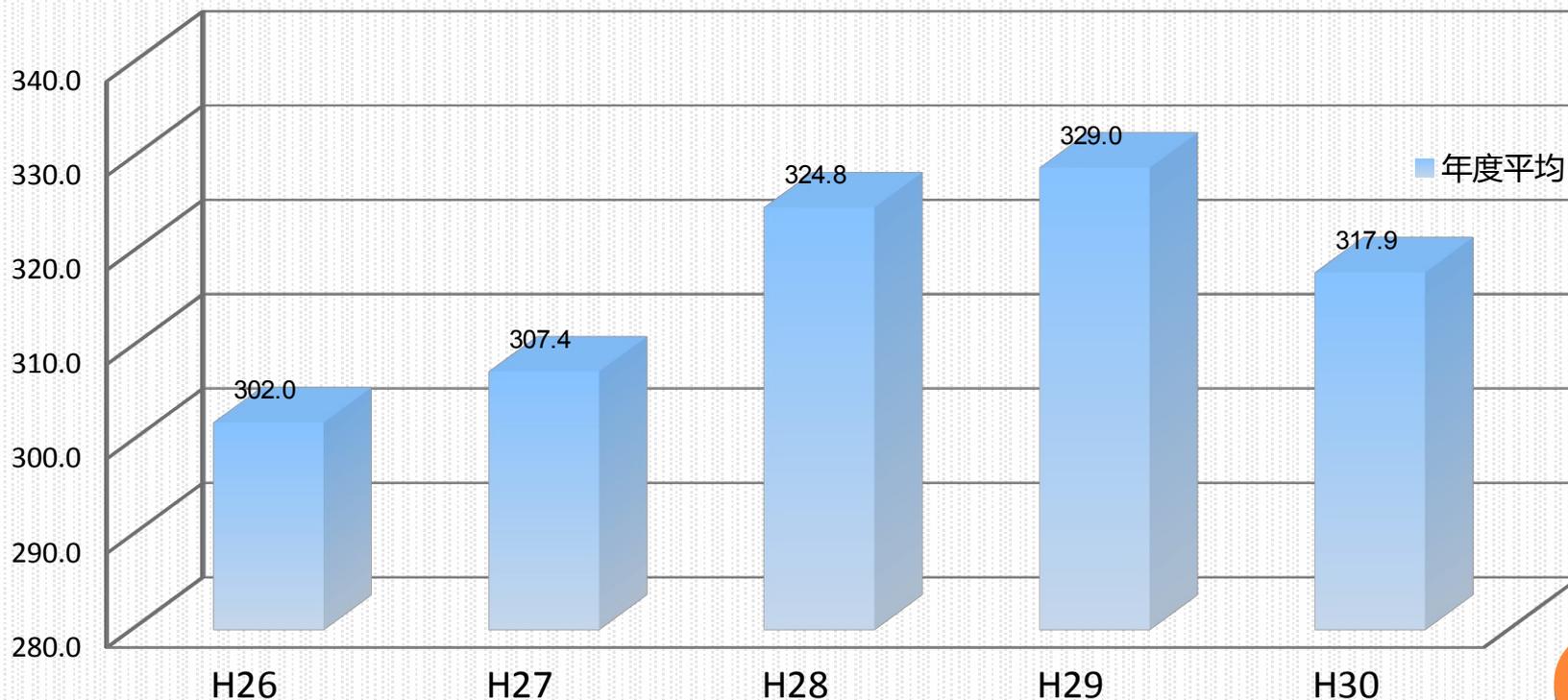
201.7名

93.4%

外来患者数推移

26年度	302.0名
27年度	307.4名
28年度	324.8名
29年度	329.0名
30年度	317.9名

外来患者数 年度平均



2019年度実績：4月～1月分累計

333.7名

ご静聴有り難うございました

